 財務書類からみた越谷市の財政

（令和５年度決算版）

市の資産と負債の状況（連結ベース）

１　資産・負債・純資産はどれだけ変わった？

（貸借対照表）

令和４年度　 　　　　　　　　　　　　　　　　 　令和５年度

資産

5,136.5億円

（149.4万円）

負債

2,022.9億円

（58.8万円）

純資産

3,113.5億円

（90.5万円）

資産

5,111.5億円

（149.0万円）

負債

1,969.2億円

（57.4万円）

純資産

3,142.3億円

（91.6万円）

　　　　※（　）内は市民１人当たりの金額（人口は１月１日現在）

　令和５年度は令和４年度に比べて、資産及び負債が減少していることがわかります。比率でみると、資産に占める負債の割合で△０．９ポイント（R4：39.4％→R5：38.5％）、資産に占める純資産の割合で＋０．９ポイント（R4：60.6％→R5：61.5％）となっています。

負債による将来世代への負担を抑えつつ、将来の世代も利用することとなる資産形成が行えているといえます。

２　有形固定資産減価償却率は？

　　【令和４年度は６４．１％、令和５年度は６５．２％】

　有形固定資産のうち、償却資産の取得価額等に対する減価償却累計額の割合です。数値が高いほど、資産の取得時から年数が経過していることがわかります。

（算出式）　　　　　　　　減価償却累計額(\*)3,946億円

　　　　　　　有形固定資産合計(\*)4,264億円－土地等の非償却資産2,153億円＋減価償却累計額(\*)3,946億円

**65.2％**

(\*)物品を除く

３　純資産比率は？

　　【令和４年度は６０．６％、令和５年度は６１．５％】

　資産に対する、返済義務のない純資産の割合を示しています。企業の財務状況を分析するときに、財務の安定性を図る指標として用いられる自己資本比率に相当するものです。

（算出式）　　　　　　　　純資産額　3,142億円

　　　　　　　　　　　　　総資産額　5,112億円

**61.5％**

４　道路や公園など、将来世代の負担割合は？

　　【令和４年度は１７．３％、令和５年度は１６．８％】

　道路や公園など社会資本に対する、社会資本形成の世代間比率（将来世代の負担割合）です。将来世代の負担割合は約２割となっており、将来への負担を先送りしないよう、健全な財政運営に努めています。

**16.8％**

（算出式）　　　　　　　　 地方債残高(\*)　　744億円

　　　　　　　　　有形・無形固定資産合計　4,439億円

(\*)臨時財政対策債などの特例地方債の残高を除く

|  |
| --- |
| 全体：一般会計＋国民健康保険特別会計＋後期高齢者医療特別会計＋介護保険特別会計＋母子父子寡婦福祉資金貸付金特別会計＋東越谷土地区画整理特別会計＋西大袋土地区画整理特別会計＋公共用地先行取得特別会計＋病院事業会計＋公共下水道事業会計  　　　　※七左第一土地区画整理特別会計は、令和４年度末をもって廃止  連結：全体＋越谷市土地開発公社＋越谷市施設管理公社＋㈱埼玉県東部流通センター＋越谷・松伏水道企業団＋東埼玉資源環境組合＋埼玉県市町村総合事務組合＋埼玉県都市ボートレース企業団  ＋彩の国さいたま人づくり広域連合＋埼玉県後期高齢者医療広域連合  ※埼玉県都市競艇組合は、令和４年４月から埼玉県都市ボートレース企業団へ名称変更 |

※各表中の数値は、表示単位未満を四捨五入しているため、合計値と一致しない場合があります。